

ろくおん通信

発行日： 1992年12月15日

No. 49号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作

## 図・表・写真などの音声訳について〔5〕

### 6. 表を説明する時

表の形にも様々なものがあります。単純に縦に何項目、横に何項目という説明ですむものもありますが、多くはその都度工夫が必要です。ここでは、一般的な注意点をいくつか上げてみます。

(1)縦に読むのか、横に読むのか、これは重要な問題です。本来、表は縦にも横にも比較しながら見て行けるものですがテープではどちらかに決めて読むことになります。

本文をよく読んで慎重に決めて下さい。

(2)項目がたくさんある時にははじめにその数を云い、項目に番号をつけて読むなどの工夫をします。どこまで続くのかわからないのは不安なものです。

(3)例えば一項目ずつ横に読んでいく時、項目名を毎回入れていくかどうか、難しい問題です。読み上げる数値に単位がついていて区別ができれば一々項目を読まないで単位をつけて読む方法が考えられます。

項目が縦・横・高さとか春夏秋冬などわかり易いものでは一々云わなくても良いと思います。

但しこの場合でも、各欄の記載が複雑で区切りがわかりにくいような時には項目をつけて読むか、項目が長い場合には、a,b,c…などの記号をつけるなど工夫が必要です。

### 7. その他

このシリーズの第一回でのべましたように録音図書製作には、まず第一に原本に忠実に著者の意をそこうことなく音声化することが求められます。私たちの仕事は活字という視覚にうったえるメディアで流された情報を声という聴覚にうったえるメディアに変換する仕事だという云い方が出来ると思います。各メディアにはそれぞれ特定の制約があり、ここに原本に忠実ということの大変な難しさがあると思います。

録音図書製作の過程ではテープは常に原本と一体です。けれど利用者の手元にはテープだけが届きます。テープだけで、完結した一冊の本になっていなければならないわけです。そしてそのテープが結果として著者の意をそこなうことなく原本の内容を忠実に伝えていなければならないということなのです。

## 8. 終わりに

5回にわたって連載して来た“図・表・写真などの音声訳について”は今回でひとまず終りです。

- ・テープ作りに対する基本的な考え方
  - ・処理の方法は様々あること
  - ・いくつかのパターンについて模範解答を求めても意味がないこと。
- など、この問題の難しさが判っていただけでしょうか。

図も表も写真も様々で一つとして同じものはないといい位です。それらをその都度どのように扱っていくかこれは一に音声訳者の努力にかかっているのです。

そんなこともあってこれまで実例を元にして来ませんでした。そのために判り難い部分が多かったと思います。近い将来、いろいろな例を上げて、その例についての考え方を示す連載を又はじめたいと思っています。音声訳者の一人一人が経験を積み重ねて行くこと、それと同時に未経験者の率直な感想が新しい問題点の提起になることも多いのです。読んで下さった方々のご批判、ご感想をお待ちしています。そんな中から又、新しい問題も出て来ると思っています。

利用者の立場で録音図書をきいてみることは誰にでも出来る経験です。是非一度、図も表もある本で経験してみて下さることをおすすめしたいと思います。

## 正誤表から・・・その24

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
心算	シンザン	シンサン	分限者	ブンゲンシャ	ブゲンシャ
下達	ゲダツ	カタツ	大舞台	ダイブタイ	オオブタイ
輪廻	リンカイ	リンネ	拙い	マズい	ツタない
過重な	カチョウな	カジユな	前言	ゼンゴン	ゼンゲン

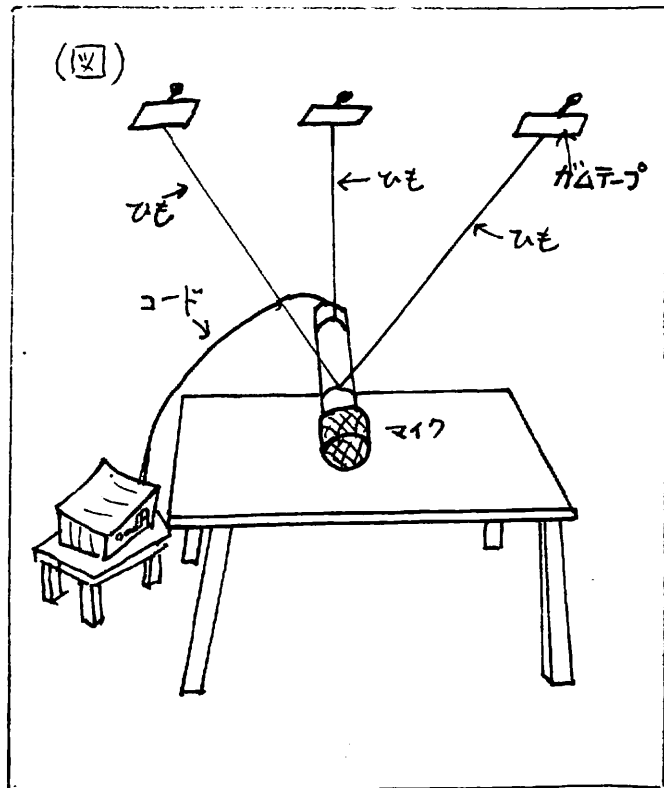
## 二通りの読み方があるって各々意味が異なるもの・・・その11

一品	イピン イボン	一つの品、最もグレード作品 親王の位階の第1位	山子	ヤマジ ヤマ	ヤマジ 山仕事人/総称 ヤマ 山中に住む山伏妖怪
赤子	アカジ セシ	アカボウ 天皇親に外に人民云々場合	一名	イチ イチヨウ、イチイ	琵琶法師/付加「某」トウ名 本名以外/名、別名、ヒリ人
遊行	ウウ ウヨウ	遊ビ歩クト、ウチ歩クト 仏、僧が修業説法ヲメヨウクヲ メグリ歩クト	猪口	イブチ	さかずき 垣子菌類に属スル数種/食用キノコ 総称

## — Q &amp; A —

Q：以前、マイクは天井から吊すと良いと『ろくおん通信』で紹介されていたのでその通り  
にして見ましたがうまく行きません。よい方法を教えてください。

A：以前、マイクは机の上に置くよりも、天井から吊した方がよい事を  
図入りで紹介しましたが、その図が  
簡単過ぎて、かえって困っておられ  
るようです。マイクを天井から吊す  
場合、マイクがぶらぶらしないよう  
に吊す必要があります。紐を一本だ  
けではうまくいきません。角度や高  
さを調整しながら、右図のように少  
なくとも3本の紐で吊すようにすれ  
ばマイクは安定するはずです。紐は  
あまり細いものより、少し太目のナイ  
ロンロープなどであれば天井に固  
定する時もガムテープなどでもとま  
ります。



## グループ連絡会のご案内

日時： 1993年1月22日（金）  
13：30～15：30

場所： 盲人情報文化センター6階

- 内容： 1. グループリーダーを中心に処理の研修。  
（第1回、漢字の処理について）  
2. グループ交流  
3. その他

## リクエスト図書一覧

下記の図書は利用者から音訳依頼を受けています。音訳してもよいと思われるグループや個人の方がいましたら、下記までご連絡ください。  
（連絡先：06-441-0015 盲人情報文化センター録音製作係・清水）

『朱龍賦』／伴野朗著：＜小説＞

『五番目のサリー』／ダニエル・キイス著：＜小説＞

『24人にピリー・ミリガン』上・下／ダニエル・キイス著：＜小説＞

『私書箱9号』／ジャック・オルコス著：＜小説＞

『ハーブの花のアルバム』／ハーブス編集委員会編：＜園芸、本文のみ＞

『大学受験問題 国語』／：（各大学の国語入試問題と解答）

<>内は分類

『ろくおん通信』に関する質問、意見などがございましたら下記までご連絡ください。

盲人情報文化センター録音製作係 清水（06-441-0015）